

平成30年度 指定管理者事業報告概要及び評価

報告期間:平成30年4月1日～平成31年3月31日

施設名	大和市鶴間児童館
指定管理者	大和市コミュニティセンター鶴間会館管理運営委員会 会長 鈴木 良夫
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日

1. 事業報告概要

【業務実施状況】

- ・児童館施設の承認に関する業務

児童館名	幼児	小学生	中学生	その他 (高校生付 添父母等)	合計	1日平均 (人)	開館日数
鶴間	369	2,906	533	464	4,272	14	308

- ・児童館の事業および管理運営に関する業務

火曜日～金曜日と日曜日正午～午後5時30分まで、土曜日は午前10時～午後5時30分まで（月曜日と12月29日～1月3日の休館日を除く）職員1名以上の常時配置、児童館としての自主事業の実施および児童の遊びや生活の指導、施設内巡回、消防訓練の実施、施設内の安全確保について仕様書に定めるとおり適切に実施した。

- ・自主事業の計画及び実施（主な事業）

事業名	開催期間	参加者数
春の工作（簡単ロケット）	4/10～25	16人
母の日プレゼント工作（メッセージクリップ）	4/26～5/6	20人
父の日プレゼント工作（牛乳パックで作るペン立て）	6/5～24	17人
七夕の集い（バルーンショー）	7/8	41人
夏の共同工作（しりとりのできる切り紙）	7/24～8/10	10人
夏休み工作（ビーズで作るブレスレット）	8/8～22	8人
卓球大会（鶴間中学校卓球部に審判を依頼）	8/21	20人
敬老の日プレゼント工作（チューリップの花束）	9/4～16	22人
秋の工作（黒ねこのとうろう）	10/17～25	15人
コミセンまつり（ゲームコーナー・アートバルーン）	11/18	360人
クリスマス会（コンサート）	12/9	134人
書初め（書道サークルの方がボランティアで指導）	1/5	10人
バレンタイン工作（チョコレートレイ）	2/3	7人
ひな祭り工作（ソックスでつくるお雛様）	2/19～3/12	11人
春休み工作（紙コップでジャンプ）	3/22～31	13人

【事業実施状況に関する補足説明】

特になし

2. 収支決算概要

(単位：円)

収 入		支 出	
指定管理料 (市が指定管理者に払った金額)	2,640,000	雇用関連経費 (指定管理者が雇用している職員の給料、諸手当、福利厚生費等の金額)	2,472,947
雑入 (預金利息等)	1,308	事業費 (指定管理者がイベント等事業実施のために支出した金額)	136,434
収入計 (①)	2,641,308	支出計 (②)	2,609,381

収支決算	31,927
------	--------

※収支差額 31,927 円は、令和元年度特別会計に繰り入れます。

【収支決算に関する補足説明】

特になし

3. 管理運営に対する評価等

指定管理者の管理運営に対する市の評価は次のとおりです。

評価にあたっては、平成31年3月に利用者アンケートを実施し、平成30年度事業について利用者より意見聴取を行いました。

<p>評価の視点1：施設を利用する者に対し、平等な利用の確保及びサービスの向上が図られたか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用事務については、条例等に則り適切に行なわれています。 ・日頃の事業については、年4回「児童館だより」の発行や、近隣小学校へのポスター掲示等を行い、広く事業を周知し、平等な利用の確保及びサービスの向上を図っている点を評価します。 ・利用者アンケートの配布数が昨年度より増え、回収率も98.3%と高い水準を維持している点を高く評価します。(H29年度50枚、H30年度60枚) ・「スタッフの対応」については、利用者アンケート回答者の96.6%が「よい」～「ふつう」と回答しており、継続して高い水準を維持している点を評価します。 ・児童館利用の人数が前年度比104.9%と増加したことを高く評価します。成果のあった取り組みについて振り返り、更なる発展に活かしてください。
<p>評価の視点2：施設の効用が最大限に発揮された事業運営が行われたか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な自主事業を実施し、地域での青少年健全育成に努めています。特に近隣中学校のまち探検や施設見学、職場体験学習に協力し、地域の青少年健全育成に貢献している点も評価します。 ・卓球大会では、鶴間中学校卓球部の生徒たちに審判やトーナメント表作成・進行を依頼するなど、地域の児童の交流を図っている点を評価します。 ・自主事業の企画内容や成果については、児童館指導員連絡会等を通じて積極的に他館へ情報発信することを望みます。また、他の児童館の人気イベントの事例を参考にしながら、児童により多くの体験の機会を与えられるような、企画の広がりを期待します。
<p>評価の視点3：施設の適切な維持及び管理が図られたか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常の清掃が適切に行なわれる等、施設を維持するための取り組みが見られます。 ・生活指導として、物を大切に扱う事や片付けを習慣化する等、継続的に利用者と向き合い環境向上を図っている点を評価します。
<p>評価の視点4：施設の管理を安定して行う人員、資産その他の経営の規模及び能力を有しているか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の管理運営を安定的に行う上で十分な財務状況と判断します。 ・指定管理会計の収支決算は適切に処理されています。